

令和元年度 お城を中心としたまちづくり懇話会 会議録【概要版】

日時：令和2年1月17日（金） 14:00～15:30

場所：プラザおでって 大会議室

出席者			
氏名		役職名等	
倉原宗孝	出	岩手県立大学総合政策学部教授	学識経験者
斎藤純	出	石神の丘美術館美術監督，作家	岩手公園開園 100 周年記念事業関連
坂本広行	出	宗教法人 櫻山神社 宮司	櫻山地区歴史
下玉利元一	出	盛岡城いしがき文化祭推進フォーラム代表	市民まちづくり団体
高橋智	出	文化地層研究会 代表	歴史・文化
佐々木祐輔	出	内丸第二町内会 会長	地域住民
日影直人	出	一般社団法人盛岡青年会議所 専務理事	商工・観光
林晶子	出	盛岡商工会議所女性会 顧問	商工・観光
大澤浩	出	盛岡市教育委員会 教育次長	
高濱康亘	出	盛岡市都市整備部長	

■事務局

公園みどり課：森課長，藤村課長補佐，佐藤計画係長，宮田技師，熊谷技師，田畑主事

配布資料

■次第

■懇話会委員名簿

■懇話会設置要領

■議題説明資料

資料1（PowerPoint スライド印刷資料）

資料2（令和元年度事業実施実績調査票）

○Park-PFI を活用した盛岡城跡公園芝生広場整備事業について

- 歴史的価値，学術的な価値に加えて市民の思いの部分も大事にするべきだと思う。
- 「バスセンター」の再開発や「ななっく跡地」の再開発も含めた3つが揃うと魅力的な盛岡の市街地が形成されるので段階を踏みながらであるが早めに進めてほしい。
- 盛岡城跡近辺だけでなくもっと広いエリアで考えていった方が良い。
- 単にハードの連携だけではなくてお店を作ることによる周辺への波及効果も極めて大事になる。

○内丸緑地の今後の在り方について

- 垣根があり人目が届かない。今は伐採されて明るくはなったが使い勝手が悪い。前は内丸緑地でタバコを吸う人がいたが，禁煙になりタバコを吸いたい人がウロウロしている。もう少し明るく気軽な皆さんの憩いの場となれば良い。
- 公共の場なのでしっかりと規制をかけるべき。
- 池が見えれば気持ち良く感じるのではないか。池を見ながらご飯を食べられるとか一つテーマを持って進めた方が良い。池の桜や蓮を見ることができればいいのではないか。
- 垣根などの高さを変更して釣り鐘や池を見られるようにしたらだいぶ魅力的になるのでは。
- 内丸緑地は現在指定管理であるが，プランター等はボランティアで行っていて皆高齢になっていると聞いている。整備するのであればボランティアに頼るのではなく計画を立てて植樹した方が良い。
- 水面で花見ができれば面白い。池の方に降りられれば，下から桜や建物を見ることができるから面白い。3か月間限定とか社会実験としてやってほしい。
- 懇話会としては今後池の方を積極的に活かす価値があるのではないかという意見である。

○その他

- 歴史文化館以外の観光施設のほとんどが定休日は月曜日である。芝生広場再整備事業でせっかく新しくできるので月曜日じゃない日を定休日にしていただきたい。
- 事業者にそのような盛岡の情報をわかるようにした方が良い。